

60209その他の林業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	15 ～ 16	自社山林で、虫害による被害発生のカラマツ林を巡視把握中、積雪強風により、カラマツが倒れ枝先で前頭部を打った。その際、傾斜木の枝がヘルメットに突き刺さり、前頭に裂傷を負い、首・腰に痛みが出た。	46	5	712	1～ 9
2	2020	1	10 ～ 11	山林の傾斜約20度の斜面で保育間伐中、クサビを使って直径約30cmの杉を斜面上方に伐倒した。玉切りをしようと移動した際、隣接の木の枝が落下し、ヘルメットに当たった。その衝撃でヘルメットが下がって顔に当たり、左上顎骨と鼻骨を折った。	59	4	712	10 ～ 29
3	2020	1	10 ～ 11	山林内で樹木の伐採中、樹高16.1mのクヌギの木を伐採した際、別の木に引っ掛かってかかり木になったため何回か玉切りを行ったところ、かかり木の根元が右足甲の上に落ちて骨折した。	36	4	712	30 ～ 49
4	2020	2	10 ～ 11	伐採作業現場で、広葉樹の玉切り作業中に並べられた伐採木を枝払いした際、チェーンソーがキックバックして、左足親指に切創を負った。	62	8	136	1～ 9
5	2020	2	14 ～ 15	平地で直径30cm～60cm位の杉の丸太を2m位の長さに切断中、チェーンソーがキックバックして右目上の額に当たり裂傷を負った。	67	8	136	1～ 9
6	2020	2	16 ～ 17	事業場の畑で、畑の整備中に、切り株で転倒し、臀部に切り株が刺さり、膀胱、直腸を損傷した。	42	19	364	1～ 9

7	2020	2	9 ～ 10	民有林内で徒歩にて作業現場まで行く途中、足下が滑って転倒した際、何に当たったかは不明だが、右耳上部を強打し、裂傷を負った。作業用ヘルメット、スパイク付き長靴を装着していたが気温が低く滑りやすい状態だった。	44	2	417	1～ 9
8	2020	2	14 ～ 15	山林の比較的軟斜面の場所で、ヒノキの切り捨て間伐作業に当たっていた。伐倒木の元から玉切り作業に取り掛かったところ、ヒノキの枝が別の立木に弓なりに引っ掛かり、硬いヒノキの特性もあり、大きな張力が発生し、元玉を切り離れたところで自重が軽くなり、枝の張力が勝ったため伐倒木の元が被災者側に動き出し、右足を伐倒木の元と切り株に挟まれて骨折した。	51	7	712	30 ～ 49
9	2020	2	14 ～ 15	工場の裏山にあるアカマツとナラの混合林で立木の伐採をしていた。直径10cmのコナラの木を伐倒したところ、2本の木の間挟まって弓状になり、切った際に左足に跳ね返った。その際、左大腿骨と左脛骨に挫傷を負った。	44	7	712	1～ 9
10	2020	2	9 ～ 10	搬出間伐事業地で、栗の木（直径20cm）を伐倒する際、受け口が小さすぎて裂けた。切り離そうと追い口にチェーンソーを当てたところ、裂けた木が右足を直撃して骨折した。	63	6	712	1～ 9
11	2020	2	10 ～ 11	作業道の法面上部（傾斜45度の急傾斜地、一部岩が露出）で、気象被害木の処理をしていた。根株ごと倒れていた杉の欠頂木にワイヤーロープを掛けて、ウインチ付きスイングヤーダで引いたところ、立木に当たって欠頂木が止まった。ロープを外そうと退避場所から移動したとき、上方から岩が落下し、両足を轢かれて挫傷を負い、左足を骨折した。	24	6	711	1～ 9
12	2020	2	10 ～ 11	高所作業車に乗った作業員が枝切りを行っていた際、手に持っていた枝が2mの高さから滑り落ち、地面で跳ねて被災者の頭に当たり後頭部を打撲した。	66	4	712	—
13	2020	2	14 ～	林内で、同僚6人と雑木の玉切り作業を行っていたところ、1.5mに玉切りした雑木が傾いて滑落し、左足人差し指を骨折した。安全靴	33	6	136	30 ～

			15	を履いていなかった。				49
14	2020	3	13 ～ 14	民有林皆伐事業現場で、チェーンソーを使用して、カラマツの伐倒作業中、現場は20度ほどの勾配で、北斜面のため地面が凍結していた。その際、予定していた伐倒方向よりも被災者側に倒れてきて、避難のときに足下が滑って転倒し、左第3、4手骨頸部骨折を負った。	69	5	712	～ 29
15	2020	3	10 ～ 11	カラマツを植え付けするために地拵えをするため草刈り機を持って草刈り中、隣の牧草畑の境界上にバラ線が張っており、そのバラ線を切っけてしまい、バラ線の針が飛んできて右足甲に刺さった。	36	4	169	1～ 9
16	2020	3	9 ～ 10	集材の荷掛け作業中、バックホーの主ワイヤーを引っ張り、傾斜30度以上の斜面を伐倒木まで降りたところ、溶け気味の雪で足を滑らせ、4mほど滑落した。その際、左膝半月板および軟骨を損傷した。	49	1	719	30 ～ 49
17	2020	3	15 ～ 16	敷地内の作業倉庫脇で単独作業により、給水ホースを探していた際、立て掛けてあった門戸が崩れて頭蓋骨骨折、急性硬膜外血種、脳挫傷を負った。	65	5	419	1～ 9
18	2020	3	16 ～ 17	坂の中腹から重機が転落し、重機の下敷きになり、頭部外傷性ショックにより死亡した。	30	1	171	1～ 9
19	2020	3	11 ～ 12	山林で竹林整備中、市道近くの平坦な場所で、伐採時に支障となる広葉樹の枝を切ろうとした。右手で小型チェーンソーを操作し、左手で小枝を掴んで切ったところ、チェーンソーが弾かれ、左上腕に挫創を負った。	29	8	136	30 ～ 49
20	2020	3	17 ～ 18	樹木の伐採中、重機等が設置できなかったため3人で人力による作業を行っていた。1人が木の上で伐り落とし、被災者ともう1人は木の下でロープ介錯を行っていたところ、伐った木の重さで体を持っけていかれ、石に激突して頸椎骨折により死亡した。	66	3	711	1～ 9
			14					1～

29	2020	4	7 ～ 8	市道で玉切り作業をするため、クラブで丸太の上に材木を置こうとした際、丸太の位置をずらそうとして右手を挟み、甲に筋挫傷を負った。	19	7	522	～ 29
30	2020	4	10 ～ 11	山林で杉苗木の穂木を採取中、両足をダニに刺され、左股間のリンパが腫れ痛みを負った。	20	12	719	1～ 9
31	2020	5	9 ～ 10	宗教施設内で樹木の枝下ろし作業中、下ろした枝をチェーンソーで細かく伐る作業をしていたところ、手を滑らせてチェーンソーの刃が左脛脛側部に当たり切創を負った。	42	8	136	1～ 9
32	2020	5	16 ～ 17	伐倒木の集積中、他の作業員がチェーンソーを使用するので退避の指示を受けた。退避する際、幹につまずいて転倒し、左手をついて手首を骨折した。	62	2	522	30 ～ 49
33	2020	5	11 ～ 12	造林地で刈り払い機を使用して除伐作業中、蔓が絡んだ雑木を刈り払おうとしたとき、雑木が倒れなかったので、蔓を切断しようとした。左手で蔓を掴み、右手で刈り払い機のパイプを握って切ったところ、刈り払い機の刃が左手に接触し、人差し指を骨折した。	57	8	139	10 ～ 29
34	2020	5	9 ～ 10	急斜面の山林で、刈払機によるかん木の伐採中、ヘルメットにフェイスガードを装着しておらず、木片が跳ね、右目に当たり、眼球内出血を負った。	19	4	169	10 ～ 29
35	2020	5	11 ～ 12	間伐作業中、伐倒した木の玉切りをしていた際、杉の木（20cm×4m）が斜面を滑って被災者の左足に激突し、足首が木と木に挟まれて骨折した。	54	6	712	10 ～ 29
36	2020	5	10 ～ 11	山林内でかがり木の処理を行っていた際、ツルが引っ掛かり引っ張れないため、かがり木に伐り込みを入れて、折り曲げるようにして引き上げようとした。その際、反対方向へ折れ曲がってワイヤーのテンションがかかり、切り口が自分の方へ寄ってきた。避けようとしたが、左足関節を捻挫・打撲した。	35	4	712	1～ 9

37	2020	5	13 ～ 14	現場で間伐作業中、切った木（20m、胸高直径20cm）がかかり木 になったため処理を行ったところ、思わぬ方向に倒れて被災者の頭 部と胸部に当たり、肋骨を折り、頭部等に擦傷を負った。	44	6	712	～ 49
38	2020	5	11 ～ 12	ヒノキ36年生の契約地で、刈払機にて除伐作業中、直径約5cm、樹 高約3mの灌木を切断したところ、3枚刃の一部が欠け左足首を直撃 し、左前脛骨筋腱断裂、左足舟状骨を折った。	40	4	169	10 ～ 29
39	2020	6	14 ～ 15	林内で、間伐作業の移動中、山の上方から石が転がり、避けきれ ず、左ふくらはぎに当たり、左内側腓腹筋内血腫を負った。	60	4	523	10 ～ 29
40	2020	6	9 ～ 10	山林の間伐作業中、チェーンソーでヒノキを伐倒した際、その下敷 きになった灌木が跳ねて顔面に当たり、鼻に外傷を負った。	51	6	712	30 ～ 49
41	2020	6	14 ～ 15	休耕田の伐採作業現場で、伐採した木や草をフォークで車両に搬入 していた際、フォークがバランスを崩して、木の枝が右足親指に刺 さり、圧挫傷を負った。	29	7	364	50 ～ 99
42	2020	6	14 ～ 15	草刈作業中、かずに足が絡まり転倒したとき、左肩付近に痛みが あったが作業を続けた。翌日、左上腕骨近位部骨折、左背腱板損傷 の疑い、左足関節捻挫を負った。	50	2	712	30 ～ 49
43	2020	6	9 ～ 10	草刈り作業中、山の斜面から下りる際、倒木に足を滑らせ、右足首 に靭帯損傷を負った。	40	2	712	10 ～ 29
44	2020	6	11 ～ 12	山林で集積作業中、岩に上ったところ、真ん中に穴が開いているの に下草が繁茂していて気付かず穴に落下し、左膝打撲、右肋軟骨を 折った。	42	1	711	10 ～ 29
45	2020	7	12 ～ 13	山林で、刈り払い機を使用して下草刈りを行っていたところ、切り 株に刈り払い機の刈り刃が当たり、キックバックが発生した。その 反動で刈り払い機のハンドルが右太腿に直撃して挫傷を負った。	48	6	169	10 ～ 29

46	2020	7	13 ～ 14	炭ガマで、2人で雑木（長さ2m、太さ10cm～25cm）を玉切る際、高さ1.0mにはい積された雑木（太さ20m）が右足首に滑り落ちて骨折した。	49	4	712	～ 99
47	2020	7	11 ～ 12	国有林の下刈り作業現場で、刈り払い機を使用して下刈り作業をしているとき、雑草木で足を滑らせて仰向けで転倒した際、回転していた刈り払い機の刃が右足内側くるぶし付近に当たり、約7cmの切創を負った。	64	8	169	1～ 9
48	2020	7	13 ～ 14	刈払い機を使用し、下刈り作業を行っていたところ、急斜面で足を滑らせて体勢を崩した際、刈払い機が残材に当たったことでキックバックを起こし、刃が右足脛に触れ右下肢挫創を負った。	21	8	169	10 ～ 29
49	2020	7	9 ～ 10	杉の伐採作業中、玉切りした木が谷に落ちたので、切断して片付けようとしたところ、腰部を捻挫した。	35	19	921	1～ 9
50	2020	7	11 ～ 12	山林で伐採作業中、2本の木にかずらが巻き付いており、1本を切つて倒したところ、もう1本も折れて倒れ、逃げようとしたところ下の作業道まで転落し、脊髄を損傷した。	57	1	719	1～ 9
51	2020	7	9 ～ 10	傾斜角35度の除伐作業現場で、伐倒したヒノキを押し倒そうとしたとき、最近の大雨により滑りやすくなっていたため足を滑らせ転倒し、岩に腰を強打し腰椎横突起を折った。	58	3	523	10 ～ 29
52	2020	7	10 ～ 11	急傾斜地の下刈り作業中、足下が滑り転落し、刈刃が接触して、左足親指に切創を負った。	20	8	169	—
53	2020	8	9 ～ 10	苗木周辺の下刈り作業中、草丈がかなり高かったため、スズメバチの巣があることに気付かず、草と一緒に刈ってしまったことにより、スズメバチの大群に襲われ、全身を約9か所刺され、負傷した。	42	90	719	1～ 9
			16	山林で間伐作業中、機械助手をしていた際に脱水症状になり倒れ				10

54	2020	8	17	た。	38	11	715	29
55	2020	8	8 9	草刈り中に蜂に背中を5か所ほど刺され、蜂刺症を発症した。	39	90	719	1 9
56	2020	8	14 15	切り捨て間伐作業中、雑木を伐採した際に掛かり木になったので、根元から約60cmを切ったところ、切株に引っ掛かって元玉が落ちなかった。元玉に足を乗せて体重を掛けたところ、元玉が外れて落下し、元玉から先の木が被災者の方へ戻ってきた。その際、被災者が転倒し、右足首を伐採木と切株に挟まれて骨折した。	57	6	712	10 29
57	2020	8	10 11	山中で作業路新設のため、ルートを歩いて確認中、カズラと木の根に左足首が挟まって転倒し、靭帯損傷を負った。	43	2	712	1 9
58	2020	8	11 12	間伐作業中、ヒノキ（直径約20cm、樹高約12m）を伐採して玉切作業を行っていたところ、切った木が右足甲に当たって中足骨を折った。	69	6	712	10 29
59	2020	8	15 16	庭木の剪定中、ブロック塀を乗り越え、着地したときに足首を骨折した。	28	3	418	1 9
60	2020	9	11 12	国有林にて地拵作業を行っていた際、斜度43度の斜面にて横方向へとチェーンソーによる枝整理を行っていた。そのとき、既に伐採され不安定な状態になっていたナラの木（直径36cm、長さ20m、重さ1t）が滑り落ち、木に対して横向きのうつ伏せ状態で下敷きとなり、体が圧迫されて窒息死した。	58	7	712	1 9
61	2020	9	11 12	山林にて刈り払い機で除伐作業をしていたとき、斜面上で足下が滑って転倒したはずみで、刈り払い機の刃が右足の甲に接触し、切創を負った。	51	8	169	10 29

62	2020	9	11 ～ 12	会社敷地内の草刈り作業中、土盛りをして高くなっている場所でバランスを崩して転倒しそうになり、飛び下りた際に、落差が1mくらいあり、コンクリート部分に着地して、踵に体重が掛かり、左踵を骨折した。	30	19	523	1～ 9
63	2020	9	14 ～ 15	自社倉庫でチェーンソーの整備中、切れ味の確認を行っていた。そのとき、後ろにある鉄骨材にチェーンソーを当ててしまい、その弾みでチェーンが切れて、足の付け根に当たり、左足大腿部に切創を負った。	27	8	136	1～ 9
64	2020	9	12 ～ 13	山中の斜面で、伐採した樹木の片付け中、伐採木を放り投げた際、伐採木が跳ね返り、右手親指が伐採木を掛けようとした切り株の断面に挟まれた。このとき、右手親指破裂を負った。	21	7	522	10 ～ 29
65	2020	9	10 ～ 11	現場で切った竹を降ろしていた際、足下の土が滑って5m下に転落し、頭部と左肘を打撲した。	27	1	719	1～ 9
66	2020	9	10 ～ 11	荒廃森林整備事業で、切り捨て間伐を実施していた際、伐った木が、かかり木となり、その木を元玉切りで処理していたところ、自分の方に倒れかかってきて下敷きとなり、鼻骨・肋骨・肩甲骨を折った。	41	5	712	1～ 9
67	2020	9	10 ～ 11	山林で間伐作業中、チェーンソーで伐倒した枯木が、一部落下して左手の甲に当たり、第3中手骨を折った。	42	6	712	1～ 9
68	2020	10	9 ～ 10	社有林内で、集材クローラークートの上部アタッチメントをトラッククレーンで吊り上げた際、地上から1m程度の高さのところ4点吊りのワイヤーフックのうち1つが外れてバランスが崩れて傾いた。その際、退避が不十分な状態で吊荷の近くにいた被災者の腰部にアタッチメントのステッキ部がぶつかり、第1、2、3左横突起骨折、腰部打撲傷を負った。	41	6	372	1～ 9
			9	造林地内で皆伐作業中、ヒノキ（胸径約50cm）をチェーンソーで伐				

69	2020	10	～ 10	倒したとき、枝絡みの隣接木（クリ、胸径約20cm）が被災者の方へ倒れた。その際、下腿部を骨折し、腰部を打撲した。	22	6	712	1～ 9
70	2020	10	～ 16	現場で、伐採した樹木をワイヤーで吊り積み下ろし作業中、バランスを崩し、樹木が滑り、橋の欄干と樹木の間で右足を挟み、右足踝を骨折した。	70	6	212	10 ～ 29
71	2020	10	～ 12	山林で、台風によって傾斜した木の伐採作業中、かかり木が落下してきて体に当たり、腰椎圧迫骨折と頸部に打撲傷を負った。	72	6	712	1～ 9
72	2020	10	～ 10	刈払機を使用して法面の草刈作業中、古くなって倒れていた柵に気付かず、刃が柵の番線に当たった際、番線の一部が切れて飛んできて左足に当たり、刺傷を負った。	24	4	169	10 ～ 29
73	2020	10	～ 15	ドラグショベルで作業道の開設を行っていた際、ドラグショベルごと谷に転落し、外傷性ショックにより死亡した。	72	1	142	1～ 9
74	2020	10	～ 11	道路沿いの法面で草刈作業中、石を踏んで、足をひねり、そのまま滑り落ちて、右足首に痛みと腫れを負った。	43	19	523	1～ 9
75	2020	10	～ 11	住宅15棟周りの樹木剪定中、脚立に上がり作業完了後、下りるとき足を滑らせバランスを崩して落下し、左側鎖骨・肋骨8カ所を折った。	72	1	371	1～ 9
76	2020	10	～ 9	山林で間伐作業中、作業車のエンジンを始動させようと、クランクハンドルを使用してエンジンを回転させていた。回転数が上がり、始動準備が整ったためクランクハンドルをエンジン本体から外そうとしたときに、勢いよく外したため、ハンドルが重みとなって振り回されるかたちで、右手首をひねり骨折した。	27	19	172	50 ～ 99
77	2020	10	～	現場から走行中、トンネル手前で猪が飛び出してきたため、避けようとしてハンドル操作を誤り、山林に乗り上げ車が横転し、右肩に	20	17	719	1～

			15	打撲を負った。					9
78	2020	11	9 ～ 10	林地内で、手鋸を使用した除伐・枝打ち作業など、肩を酷使する業務が断続的に続いたことにより、肩関節・腱板の炎症を発症した。	63	19	921		10 ～ 29
79	2020	11	11 ～ 12	山林で、アカマツと広葉樹の混交林の皆伐作業中、伐倒したナラ（樹高15m、直径18cm）がかかり木となったため、退避場所等周囲の整理をしてから処理をしようとしたところ、突然かかり木が倒れ、枝部が右足甲に当たり、骨折した。	83	4	712		1～ 9
80	2020	11	9 ～ 10	樹木剪定工事で、クロマツの枝をチェーンソーで切断中、刃が跳ね返り、はずみで左膝部分に当たり、左下腿挫創を負った。	27	6	136		1～ 9
81	2020	11	9 ～ 10	伐倒作業中、倒してある丸太の上を跨いで場所移動する際に、大きい丸太の上に足を掛けた。そのとき、霜で滑りやすくなっていた所に足を掛けて転倒し、下方にあった丸太に股間をぶつけ、尿道損傷を負った。	73	2	719		10 ～ 29
82	2020	11	9 ～ 10	山の斜面で、伐採作業中、枯木の倒木（杉、直径、20cm、かかり木）を切り落とす作業中、チェーンソーで切断した際、切り落とし木が左膝に当たり、靭帯損傷を負った。	55	4	712		1～ 9
83	2020	11	13 ～ 14	造林地で間伐作業中、ヒノキ（樹高約12m）を地上1.6mの場所で伐採したところかかり木になり、滑ってきたため退避しようとしたが間に合わず、右足脛に当たって骨折した。	57	5	712		100 ～ 299
84	2020	11	9 ～ 10	山林でスギ切り捨て間伐する作業中、チェーンソーで枝払いしていたところ、キックバックが発生し、顔面挫滅創を負った。	65	8	136		1～ 9
85	2020	12	14 ～ 15	民有林で間伐作業中、トドマツ42年生を伐倒した際、伐倒木の先端が折れたため、退避したが避け切れず、落下物が右肩に当たって、右肩甲骨を折った。	69	4	712		1～ 9

86	2020	12	11 ～ 12	いぐね伐採現場で、伐倒するモミの木（24cm×12m）を倒す際に、枝を落とす作業で、はしごに乗り小型チェーンソーで枝（3cm×1m）を落とす作業を行っていたところ、枝を持っていた左手の甲に切創を負った。	52	8	136	10 ～ 29
87	2020	12	13 ～ 14	支障木（杉の枯れ木、樹高13m、胸高26～28cm）の伐採中、伐倒方向へ倒れ掛かったので退避したところ、退避方向に倒れてきて激突した。その際、左膝と左足首に打撲傷を負った。蔓を切りすぎたこと、退避するタイミングが早すぎたこと、クサビを使用しなかったことが原因である。	37	4	712	1～ 9
88	2020	12	14 ～ 15	山林で、職員3名で間伐作業中、職員1名が二又の立木を伐倒したところ、右部が別立木と接触し、先端部分が折損・飛来し、伐倒方向外に退避していたヘルメット着用の被災者頭部に激突し、頭部・左手・頸椎・胸部に打撲傷を負った。	38	4	712	1～ 9
89	2020	12	13 ～ 14	現場で、幹（径約30cm、長さ約5m）をクレーンで吊って、駐車場に降ろして元口が地面についたところで、塀に当たらないように押さえたら、ワイヤーの止め口が下にあり、回って幹から出ていた枯枝（径約15cm）が右後頭部にぶつかり、打撲を負い、首を骨折した。	67	3	372	30 ～ 49
90	2020	12	8 ～ 9	病院で定期健康診断を受けた際、胃のバリウム検査を行ったが、そのバリウムが腸内で固まり便秘を引き起こした。その際、血便、腹痛があり、検査の結果、腸からの出血がわかり、虚血性腸炎を負った。	58	90	911	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。